

広報くまむら

KUMAMURA

里山の四季と暮らし Kuma Village Public Relations

No.344

2021

8



We want you to
know more about
Kuma Village

広報くまむら

急流と鍾乳洞の里「球磨村」

球磨村は熊本県の南部にあります。令和2年7月豪雨災害により甚大な被害を受けました。発村民の一日も早い生活再建を第一に取り組んでいます。復旧・復興を見守り、ご支援いただければ幸いです。

Featured photo of
Kuma Village

CONTENTS

- 1 表紙
- 3 岳本の轟、千寿園公費解体
- 4 令和2年7月豪雨災害犠牲者追悼式
- 6 子育て世代意見交換会
- 球磨村のできごと
- 14 「あぎゃんこぎゃんそぎゃん」
- 仮設店舗鍵渡し
- 16 死亡叙勲及び特旨叙位伝達
- 17 くらしの情報
- 26 陽だまり
- 27 文芸の広場
- 思い出写真館
- 28 熊本県南豪雨復興支援 火の国うたまつり

今月の表紙



勢い良く流れ落ちるのは川島地区の「布が滝」球磨村で一番高い滝です。艶やかな岩盤^{あで}を流れ落ちる滝が、白くたなびく絹のように見えることから名づけられました。

紙面の中で日付に年号がないものはすべて「令和3年」です。また問い合わせなどについて、市外局番がないものは「0966」です。

特別養護老人ホーム

千寿園

10月中旬を目途に公費解体が進む。



岳本の轟

とどろ

岳本地区の集落から上流に500mほど行くとあります。高さは約6mで、岩壁の上端に1mばかり食い込んだ落ち口から、収斂された滝水は純白の帯となって、滝つぼに一気に落下していきます。太陽が昇ったお昼頃。滝の真上から日が差し、滝つぼがエメラルドグリーンに輝くと幻想的な世界が広がります。

令和2年7月豪雨災害

犠牲者追悼式

8月1日午前10時から令和2年7月豪雨災害で犠牲となられた25人の追悼式を球磨中学校体育館で行いました。遺族や参列者が祭壇に花を供え、犠牲者のご冥福を祈ると共に、球磨村の復興を誓いました。

追悼式は球磨村と熊本県が主催し、当日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席者を制限し、約40人が参列しました。また、7月4日で豪雨災害から1年を迎えますが、各家庭での一周忌の法要や7月上旬は梅雨末期のため大雨を考慮し、梅雨明け後の8月第1日曜日を追悼の日とし、追悼式を開催しました。

参列者全員で祭壇に黙とうをさげた後、松谷浩一村長

は「復興には長い年月がかかりますが、被災者一人一人に寄り添い、必ず復興を成し遂げることをここにお誓い申し上げます」

蒲島郁夫熊本県知事は「一日も早く住まいの再建を実現し、大切に受け継いでこられた地域の絆を将来へ繋いでいくよう全力を尽くして参ります」と式辞を述べました。

遺族代表の吉川宗志よしかわのりゆきさんは「災害の犠牲者にならないことが本人や家族、友人にとって一番大事だということ。発災直後からこれまで活動していただいた全ての関係者の皆様に、被災者及び被災者遺族の一人としてお礼申し上げます」と追悼の言葉を述べました。





遺族代表・吉川宗志さん

一日も早く、子どもたちの元気な声が響き、
大人やお年寄りの笑顔あふれる球磨村に

7月豪雨災害での犠牲者25人を追悼 あの日から1年1ヵ月

球磨村・松谷浩一村長

被災者の皆様に寄り添った支援、更には環境や景観の
配慮など、迅速かつきめ細やかな対応を全力で



熊本県・蒲島郁夫知事

「誰一人取り残さない」という強い思いを胸に、創造
的復興と心の復興に取り組む



令和二年七月豪雨犠牲者之霊



二度と浸水しない環境を



子育て世代を対象とした
意見交換会を実施しました。

実施日
【渡小校区】7月13日・14日さくらドーム
【一勝地小校区】7月15日一勝地小体育館

意見交換テーマ

「皆さんが望む球磨村の将来像」

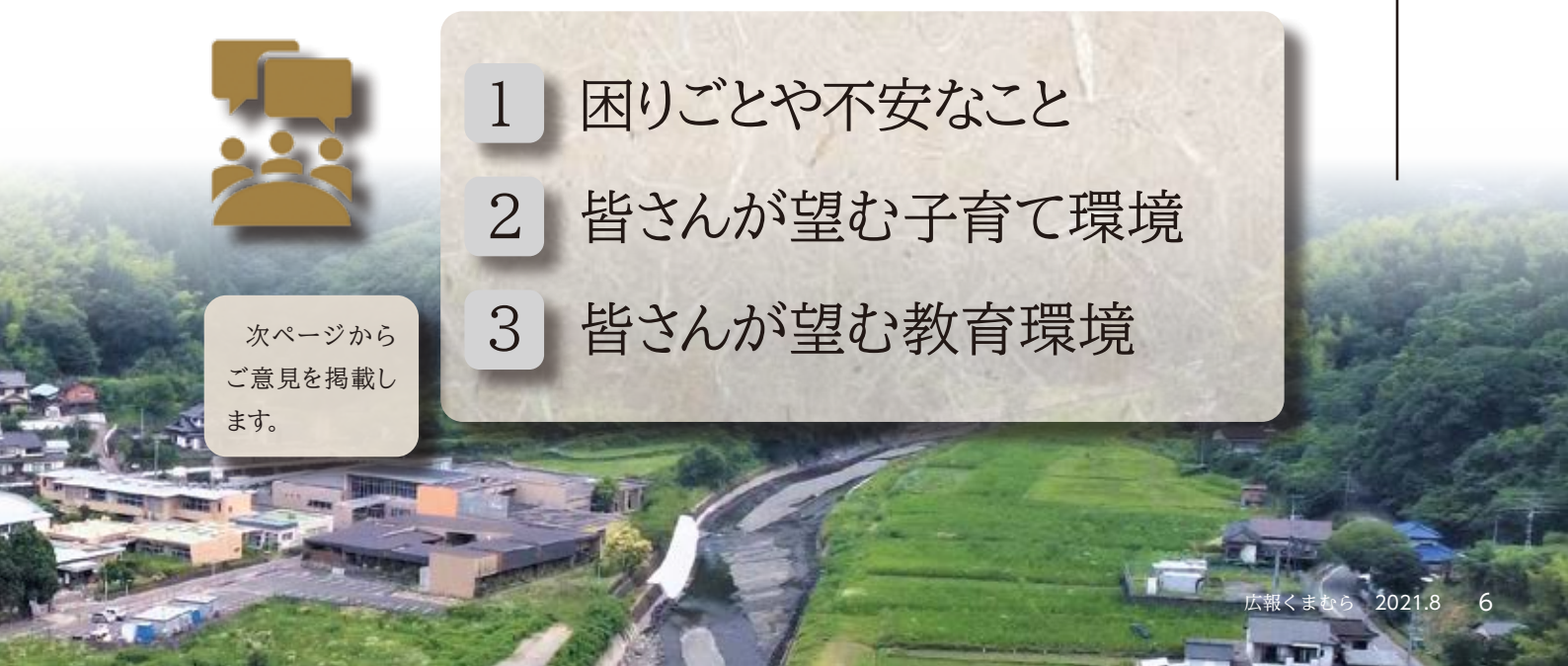
令和2年7月豪雨災害では、子ども達の学習環境や保護者の皆さんの子育て環境が大きく変化しました。そこで、これから球磨村の復興を進める上で重要な子育て世代を対象に、「皆さんが望む球磨村の将来像」をテーマにご意見を伺いました。

以下の3点について、保護者のみなさんにご意見を伺いました。



次ページから
ご意見を掲載し
ます。

- 1 困りごとや不安なこと
- 2 皆さんが望む子育て環境
- 3 皆さんが望む教育環境



1 困りごと・不安



■子どもの減少

- ・チームスポーツの部活をしようにも部員が足りない。部活動が限られている(文化部はゼロ)
- ・子どもが小学生になったとき同級生が少ない。
- ・同級生が少ないので寂しい。
- ・集落内、または地区内に子どもが一人というところが多い。
- ・地域に戻る人が少なくて不安に感じる。
- ・子どもの数が減ること、子どもの交友関係が心配。

■複式学級による学力低下

- ・複式学級がいつまで続くのか。複式学級による学習の理解が疎かになっていないか心配である。《複数意見》

■子どもたちの遊び場、運動する場所がない

- ・運動できる場所を村外に求めなくてはならない(総合運動公園しかない)。
- ・仮設住宅団地の駐車場に入ってくる車が十分減速しないため、子どもとの事故が怖い。
- ・仮設住宅団地までの道沿いに設置されたカーブが子どもから見えない。
- ・コロナで今までできたことが思うようにできなくなつて、子どももストレスが溜まっている。

- ・地域内に公園など遊具のある遊び場がない。
- ・家の周りが電柵だらけで子どもを安心して外に出せない。
- ・スポーツ施設の老朽化が激しい。

■子どもの体力低下

- ・外出する機会が減つてテレビやゲームの時間が増えている。
- ・社会体育がなくなり子どもの体力が落ちてきている気がする。《複数意見》
- ・避難生活、コロナ禍の影響による子どもたちのスポーツ離れ。

■小中学校の子どもたちの通学が不便

- ・地区に戻つたとしても学校が今のままの場所であれば色々不便。
- ・地区に帰った時に子どもが一人しかいないため、通学が不安。
- ・朝7時登校、夜7時半下校の通学を強いられて、子どもが可哀そう。
- ・通学時のバス乗り場への保護者の送り迎えが大変。
- ・学校が大雨などで何度か遅延になったが、遅れた分の授業は取り戻せているのか心配になります。

■危険な通学路

- ・一勝地までの道が不安。(特に雨天時の冠水、土砂崩れ)
- ・通学路にガードレールがない、行き違いができない。以前から修復しても、少

し雨が降つたら不通になっていた。

- ・今通っている道が2カ所崩れているので、雨の度に土をどけないといけない。
- ・土石流でカーブミラーが流れていて、国道に出る時は危ない。(通勤・通学)
- ・災害が起きる度に不通になる道路を使い続けるのではなく、安全な場所道路を新設して欲しい。
- ・沖鶴橋に仮橋を架けて欲しい。(以前子どもの送迎に沖鶴橋を利用)

■高校への通学

- ・JRが不通ため、村(自宅)から高校へ通学させられない。
- ・通学の便が悪いので、高校入学を機に村外に移転する。
- ・人吉駅から代替バスが出ているが、利用が不便。(早朝発、人吉駅での接続が良くない)《複数意見》
- ・人吉市内の通学用バス停が少ないので、送迎が大変。
- ・何年子どもの送り迎えを親がしなければならぬのか。
- ・十分な通学手段が確保されないのでは、進学時には子どもたちに寮に入ってもらふことになる。
- ・子どもが高校を決めるのに際して、交通手段を気にして自身の行きたい学校に行けない。JR(くま川鉄道)の復興の目処がたっていない現状で、高校への通学に困っています。ハイスクルバスの運行を望みます。運行の時間、くま川鉄道バスとの乗り換え等を考慮

されての運行をお願いします。時間帯が合わないのとせっかくの運行も意味がありません。

■住まいの再建に向けた村の方針

- ・治水対策、災害公営住宅、村営住宅などの計画を知りたい。(期間、内容)
- ・村には、住まいや復興のスケジュール、方針を発信して欲しい。
- ・早く安全な宅地を示して欲しい。
- ・家を建てる場所が決まらない。
- ・家族内で家に戻れるか意見が別れている。
- ・治水対策を早く完了して欲しい。5年くらいでそれ以上なら待てない。
- ・水害のときに孤立したので、今後また孤立する不安がある。
- ・孤立した時の避難場所の確保。(行き先)

■学校再建の方針

- ・学校を再建するのか、その場合いつになるのかが分からない。(6年間、プレハブ校舎は可哀そう)
- ・子どもの数が少ない中で、一勝地小学校と渡小学校で別々に学校生活を送らせるのはどうか。
- ・一勝地小学校への統合でも構わないが、徒歩通学できる距離に小学校があったほうが良い。
- ・子どもの通院や送迎を考えると、一勝地小学校は遠い。
- ・一勝地では何かあったときにすぐ行けないので、近くに再建してほしい。子ども

も達が減っているので早急に対策を立ててほしい。

- ・希望は渡小があったほうが良いと思う。しかし、今からの子どもの人数がすくないのであればどうかと思うし、渡小を作る場所も運動公園近くであれば良いかと思う。

- ・渡小、千寿園を解体するとしたら、あの広大な土地で周りから人を呼び込めるような施設を作っていたきたいです。
- ・今も一勝地で仮設校舎ならば、渡にしてもいいかもです。
- ・7月豪雨の経験で、(現)渡小の位置での統合ならば望まない。また、神瀬出身での子どもが少しでも自分の地区の近くにおいてほしい願ひから球磨村の中心である一勝地ならば統合を望む。
- ・学校は中心地区でないと、村の端にあると通学時間が長くなりすぎる地域が出てくる。

■仮暮らし中の生活環境の変化

- ・みなし仮設のアパートが狭いため、個々の部屋(プライバシー)が持てず、気苦労が絶えない。
- ・仮設住宅の中に受験生が勉強をするスペースがない。
- ・仮設が密集していて親も子ども人間関係が難しい。(距離感)
- ・子どもが安全に遊べる場所がない。錦町の仮設団地は安全で住みやすい。
- ・仮設に同級生がいないので放課後に遊びに行けない。

- ・引越先前に、頼れる近所さんがいないので、自分に何かあった時に、子どもをどうすれば良いのか不安。

2 望む子育て環境



■村内に子どもが遊ぶところの整備

- ・公園を整備して欲しい。また公園内の遊具を揃えて欲しい。《複数意見》
- ・運動の出来る場所を整備して欲しい。《複数意見》
- ・村営体育館、グラウンドが欲しい。
- ・旧渡小学校のグラウンドを開放して欲しい、ナイター設備を整備して欲しい。《複数意見》
- ・さくらドームを自由に使用して欲しい。
- ・自転車を楽しむ場所が欲しい。
- ・子どもたちの運動会が出来る場所が欲しい。
- ・自然を使った遊び場所が欲しい。
- ・既存の遊具のメンテナンスをして欲しい。《複数意見》
- ・子どもが遊べるアスレチックを増やして欲しい。
- ・夏限定で川を堰き止めて、流水プールにしたら観光客の集客にもつながる。
- ・自然を活用したアスレチック施設。

■学童の利用拡大

- ・あすなる教室の復活。
- ・学童保育を上級学年まで利用できるよ

7月13日、さくらドームに集まった渡小校区の子育て世代の皆さんの様子。仮設暮らしの悩みや習い事の充実など意見が交わされた。



うに、利用者の拡大を図る。

・今の学童は時間が早すぎる。

・ふれあいの場のようながあればよい。

・アフタースクールの延長、充実。(子どもが早く帰って来すぎる)

・地域運営の学童保育。

・中学生の学童が欲しい。家の周りに(女の子)一人では心配

■現状における施設の利用

・帰りのバスが到着する人吉駅に親の迎えの時間まで、学習などができるような安全なフリースペースがあれば、バスを利用するかもしれない。(現在バスを使っていない)

・みんなの家を活用したイベント。(学習塾、他)

・放課後、子どもが過ごせる場をつくって欲しい。《複数意見》

■複合型施設の整備

・図書館、博物館、体育館、学習塾やその他の習い事が出来る場所、運動施設を兼ね備えた複合施設が欲しい。《複数意見》

・保護者が仕事をしている間の見守りができる場所が欲しい。

・官民連携で施設の運営を行う。

・中学校や高校、大学等の合宿場として利用してもらう。(かわせみとの連携)

・同世代で気軽に話し合う場を続けてい

■気軽に話し合える場

・小学生がスクールバスを降りたあと、親が仕事から帰宅するまでの時間、安全に見守ってくれる地域のコミュニティが

・子どもたちの医療費が高校まで無料なのは有難い。

・保育料無料を継続して欲しい。

・病児保育の充実。

・高校へのバイク通学の補助。

・高校生送迎に係るガソリン代補助。《複数意見》

・進学に関わる奨学金制度の充実↓既に制度はあるので、周知を図る必要がある。

・村に残ってくれる子ども用に、返済不要の奨学金制度の整備。

・子育て世帯が戻ってきて住める村営住宅が欲しい。(住宅環境の整備)

きたい。今回の話題、話したいテーマで集まるのも良い。

・親同士の繋がりをもちたい。(コロナ前は保護者の飲み会などあった)

■安全な子育て環境の整備

・二度と浸水しない環境。

・子どもを通学送迎しなくてもよい環境の整備。(災害以前J.Rを利用)

・療育施設が近くに欲しい。

・球磨村だからできる子育てを前面に出して欲しい。

■村の子育て支援制度の充実化

・子どもたちの医療費が高校まで無料なのは有難い。

・保育料無料を継続して欲しい。

・病児保育の充実。

・高校へのバイク通学の補助。

・高校生送迎に係るガソリン代補助。《複数意見》

・進学に関わる奨学金制度の充実↓既に制度はあるので、周知を図る必要がある。

・村に残ってくれる子ども用に、返済不要の奨学金制度の整備。

・子育て世帯が戻ってきて住める村営住宅が欲しい。(住宅環境の整備)

・小学生がスクールバスを降りたあと、親が仕事から帰宅するまでの時間、安全に見守ってくれる地域のコミュニティが

・子どもたちの医療費が高校まで無料なのは有難い。

・保育料無料を継続して欲しい。

・病児保育の充実。

・高校へのバイク通学の補助。

・高校生送迎に係るガソリン代補助。《複数意見》

・進学に関わる奨学金制度の充実↓既に制度はあるので、周知を図る必要がある。

・村に残ってくれる子ども用に、返済不要の奨学金制度の整備。

・子育て世帯が戻ってきて住める村営住宅が欲しい。(住宅環境の整備)

・小学生がスクールバスを降りたあと、親が仕事から帰宅するまでの時間、安全に見守ってくれる地域のコミュニティが

・子どもたちの医療費が高校まで無料なのは有難い。

・保育料無料を継続して欲しい。

・病児保育の充実。

あれば安心。(災害前、一部地域では、地域住民が子どもを見る社会があった)《複数意見》

・子どもたちが部活に代わるような帰宅後の体力づくりやスポーツができるための人材を見出す。

・子どもの自立のためにも学習塾などが自分たちで行ける場所(村内)にあると良い↓英語や運動などの習い事ができない。習い事の種類によって、人吉まで送迎を繰り返すのはきつい。

・むかしあそび(空気鉄砲、陣取り、プランでものををつくる)ができる人材を活用した、遊びの場づくり。(地域の人を先生にして)

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

・世代を超えての行事を行い、地域にまとまりをつくる。

・そこに行けば誰かがいて、遊べるような場所が必要。

7月14日、この日も、渡小校区の子育て世代の皆さん。通学の不安や運動施設や学習環境を備えた複合型の施設の提案などの意見が交わされた。



3 望む教育環境



い。(日用品の購入)
大型スーパーなど他の地域にないものが欲しい。

■教育環境づくり

・球磨村には色々なスペシャリストがいると思います。引き出してあげれば子供も年寄りも楽しめると思います。球磨村がもっと人口が増えるような村になるといいですね。

・他の市町村と違う特色のある教育環境づくりをお願いしたいです。人吉球磨で最前線の取り組みをやってみては。

・魅力ある球磨村の学校、とっても期待しています。夢のある学校に。

・習い事の施設を作ってほしいと思います。(人吉まで通いは少し厳しいので近場にあるといいなと思います。)

・コロナ、災害の影響もあり、子供の発表の場が減っています。子供の成長のためにも発表できる場を与えてほしいです。(スポーツ面、文化面)

・帰宅後や休日等にできるような、子どもたちの運動不足を解消できるような動きが欲しい。

・子どもが子どもの時代に夢中になれるものをみつけられたらいいなと思います。今も大変だと思わず、心の余裕を持って子どもに接ってられますように。

・子ども達が集中して学べる環境づくり、球磨村の宝として村を支える若者として充実した学校生活ができるようになればいいです。

・少ない人数だからこそ個を生かした教育活動ができる気がする。

・親の仕事の都合上、村外の保育園にあずけているのですが、村外に預けているからと給食費が無償にならないのは何故ですか？他市町村は分け隔てなく無償になっています。無償にできない理由を分かりやすく教えていただきたいです。ずっと疑問に思っています。

・療育の施設がほしい。これまで「しんしん」に通っていた子達はどこに移ったのでしょうか。今日の出席率の低さが球磨村を諦めていることの表れだと思う。

■ICT教育の充実化(インターネット環境の改善による家庭学習の充実)

・村のICT教育の方向性を示して欲しい。
・家庭学習の補強に関わるタブレットの貸与。

・みんなの家のFree Wifiの整備。

■球磨村特有の学習プログラムの検討・実施

・球磨村ならではの特色ある教育(例) 林業、木工)の整備+PR↓興味のある子どもたちが球磨村に集まってくるのではないかな。

・球磨村の小学校に入るお得感を感じら

れる教育。(農業、林業、猟師、福祉(離れた集落にいるお年寄り他)

・自然(体験)プログラム授業を取り入れた球磨村ならではの学校が良い。

・山や木に詳しい子どもなど、球磨村の豊かな自然を生かした特徴ある教育を望む。

・食育(農業など)にもっと取り組んで欲しい。

・今日のような取り組みを子ども向けに実施して、子どもが考える場を増やして欲しい。(地域未来プロジェクト)

・村外からも子どもが通学する魅力ある学習プログラム。(英語、動画編集、とか)

・外国籍の住民(外国人教員)に協力してもらった英語教育の充実。

・「いなか」ならではの教育、個性を生かすような教育。

・少ない人数であるので、村の外に出たときに色々なことに対応できるようにさせたい。

・子どもの選択肢が増える教育環境。(学校で資格取得ができる)

■少人数の学習環境の充実化

・先生と子どもの距離が一人一人に目が届くように。授業参観に参加したが、複式学級は無理があると感じた。

・小人数学級は友達ができないのが問題だが、一人一人には目が届きやすい↓統合すれば学校が遠くなるかもしれないが大人数、今のままで近くに学校があるが少人数。良い面も悪い面もある。

・現在、子どもが複式学級で、授業参観の際、ちゃんと勉強ができていいのか少し

7月14日、渡小校区の子育て世代の皆さん。



不安に思った。渡小と一緒にいれば、人数は多くなるが単式学級なので気が散る事はなくなると思った。放課後の居場所づくり。一緒に勉強する場所があれば(アフタースクールの時間を伸ばしてほしい)安心して仕事ができる。

・子供の人数が少ないので、学校を一つにした方が子ども達のためには良いと思います。子どもは減っているので。複式学級は不安しかない。自分の身内が球磨村にいないため、小学校になって上級学年になった際に学童保育を利用できるようにしてもらいたい。

・ご指導が個人的に行き届いていたなど感じていたため、統合し、複式学級を取りやめていただきたいと思っています。

・年々、子どもの人数が減っているので災害関係無しに学校の再編については考えなければならぬ時期に来ていたと思う。うちの子どもは小学校へ通うのはあと1年ちょっとだが、上の子の経験から言うと中途半端な人数(10人以上)での複式学級は先生も子どもも苦労が多く、子どもが授業に集中できない。わからない問題も先生がもう一つの学年も教えないかならないため、なかなか聞けないなどと悩んでいて可哀想だった。子どもが少なく複式になるよりは、統合したほうが良いのではと思う。

・まずは早急に複式学級の解消をお願いします。村で一人先生を採用してはどうでしょうか？

■課外授業の充実化

・林間学校。自然を生かし、癒されながら学ぶ。都会の病んでいる子どもも受け入れる。

・子どもの活動の発表の場。(祭、運動会、文化祭)

■通学手段の改善

・送迎に悩む必要がないようにして欲しい。仕事をしていると悩みやすい。

・スクールバスの本数を増やして、放課後に子どもたちがそれぞれの活動をしてからでも下校できるようにする。

・平日や土日に部活で合同チームのところに練習に行く場合や試合のときはバスを出して欲しい。

・錦町の仮設住宅に住む子供たちを迎えに行くバスを、球磨村から人吉市の高校に通学する子どもたちが利用できるようにする。

・高校通学のためのスクールバスがあると良い。朝夕1便だけでもあつて欲しい。

・人吉・渡間でもJRを通して欲しい、くま川鉄道を渡まで運行できないか。

・JRを利用していた高校生は、今ほとんど家庭で送迎していると思う。本当に不便だ。スクールバスを1台どうか高校生用に利用できないものか検討頂きたい。子育ては生活が安定してこそ出来ることだと思うので、まず住まいを整えてほしい。災害後に球磨村内に候補地が数カ所有ると聞いたが、村長はじめ副

村長や災害ご担当者は実際現地を見ておられるのか？村民に答えていただきたい。建設可能かどうかを教えてください(写真など参照のうえ「かわせみ」に何か子どもが遊ぶようなコーナーができないか。ゲーム、プール、すべり台、絵本など。

・学校とスクールバス、アフタースクールの連携をもう少し密にとつてほしい。情報が伝わっておらず仕事中に迎えに来てと言われた。子育て世代を増やすなら安心してスクールバス、アフタースクールを利用出来るようにしてほしい。

・子どもたちに以前のように最適な環境で勉強させてあげたい。大雨の度に山からの水が吹き出しているところを通って通学させるのも不安です。子どもたちの精神面も心配になります。母校と呼べる場所がないのは可愛そうです。

・子どもの数は少なくなるので複式学級はいいところもあるが、人と交わることが難しい子もいます。12〜15名くらいのクラスが一番いいのだと思います。そして、球磨橋を渡って学校に行くのはどうかと思います。今回はあの橋だけが残りましたが、平日で日中にいきなりあの橋がと思うと、児童・生徒は孤立してしまふと思います。今回、土曜日だったから良かったのですが、今平日に起きたらと思うとゾッとします。

・くま川鉄道が今後再開していくと思いますが、球磨村としても渡まででいいので開催を国に申し出て頂いて、少しでも球磨村が良い方向に向かって行つてほし

7月15日、一勝地小体育館に集まった一勝地小学校区の子育て世代の皆さんの様子。通学路の安全性や遊ぶ場所の確保、球磨村の特徴を活かした教育などの意見が交わされた。



いと思います。

- ・子どもの通学手段の確保。(再建後、地域に小学生が一人になるところがある)
- ・土曜の中学校の部活の送迎がほしい。
- ・渡に学校ができないのであれば、更に村を出ていく人が増えると思う。危険な通学を小中で通って、高校へのアクセスの不便さを考えてしまう。
- ・1〜3年後は子ども2人とも村外へ通学することになるので、子どもを通学させる負担を考えると村外への移転を考え出しました。できれば村内に家を建てたいのが夢ですが、なかなか厳しい状況です。球磨村がさらなるよい球磨村になることをずっと願っています。

■学校統合の検討

- ・小・中学校を一つにして欲しい。《複数意見》

- ・小学校を統合して欲しい。《複数意見》
- ・複式が仕方ないのであればそのままでも良いが、子どもが学習内容を理解しているか確認して欲しい。可能であれば先生をもう一人配置して欲しい。
- ・子どもが落ち着いて学べる環境(複式学級の解消《複数意見》、または生徒数が少なくても単式学級の維持)
- ・多くの子どもと一緒に学べるのがよい。
- ・学校を統合するときには親のつながりが増えるような取り組みも併せて行う。
- ・村全体的に少子化となっているため、渡、一勝地統合したらと思う。現時点で子ども同士問題も出ていて解消して

あげたい。

- ・道が悪い。ガソリン代もかかる。それでも仮設を申し込まず、地元を守っています。

- ・球磨中の統合を経験しました。統合するまでは色々大変でした。小学校の統合には反対です。同じ気持ちを2回は安全に住める地域は渡地区しかないと思います。まず、宅地造成ですね。渡地区には村有地が広くあります。人吉にも近いし、病院も近いです。将来の子どもたちのことを考えると、球磨村の中心は渡地区の土地の造成を進め、安全に暮らせる場所が必要だと思っています。1年過ぎた今ですが、何も進んでいないと思います。

- ・将来、子どもの人数もまちがいに減るだろうからもう小学校は一校で十分だと思います。複式学級にする必要もなくなるので、後々は小中一貫校にしなければならぬように人口の流失を少しでも減らすように早い行動を役場にも切に願います。

- ・2校に分けているメリットがないように思う。(一勝地)第二小が一勝地と統合してよかったから。一勝地小は新築10年程度なので渡に作るよりお金がかからない。スクールバス等も都合が良いと思う。一貫校にするにしても必ずしも新築の学校を作る必要はないと思うが。まずは統合(小学校を)しておいて、住宅等の代替地等の整備が終わってから、渡方面に小中一貫校の新しい校舎を建設して

も良いのではないかとと思う。

- ・塾へ通わせるには球磨村での生活環境ではかなり厳しい。アフタースクールで基礎学習をやってほしい。スクールバスで帰宅後家庭学習の時間が短い。せっかく時間が有りアフタースクールの希望する声が多いので、学習の定着の習慣を作れたら良いと思う。保護者も安心して仕事ができると思う。
- ・いずれにしても、早くビジョンを発信してほしい。若い方たちの球磨村離れを止めるために先の見通しをたててほしい。
- ・統合は地域が寂しくなるなどの意見があるが、子どもと保護者が主役なので、そちらの意見を尊重するべきかと思っています。

- ・渡小と統合すべき。建設位置が渡地区にない。
- ・小中一貫校の案はいつ、どのような流れで出てきたのか?小中一貫の案を示された理由を聞いていないので回答のしようがない。場所については、被災しない避難所としても活用可能な場所が良いのでは。

■学校の建設地

- ・住む場所が決まらないうと、学校の場合について言えない。
- ・被災しない、孤立しない学校の場所。(一勝地は橋が落ちると孤立してしまう)
- ・渡地区に小学校が欲しい。
- ・安全な高さ(敷地などの嵩上げ)での

7月15日、一勝地小体育館に集まった一勝地小校区の子育て世代の皆さんの様子。



学校再開。

・他所から来たいと思える小学校。

【例】木造でおしゃれな学校。

・社会教育施設と一体型の学校。

・保育・教育施設を近い場所（渡地域）に整備して欲しい。

・小中一貫校の渡案（総合グラウンド）も保護者からでていました。防災の観点からも体育館・校舎があるとないつでは断然違います。まったく防災のことに関連していない「さくらドーム」。残しているのが意味不明です。（出来れば体育館を防災センターの機能を付けて、渡、一勝地、神瀬に設置をお願いしたい。）

■地域の学校施設の利用促進

・夜は保護者や地域の人も使える学校。（体育館、教室を開放）

■その他

- ・復興のシンボルとして、大学を誘致。
- ・将来子どもが球磨村に帰って来られるように、働ける場をつくる必要がある。《複数意見》
- ・未来の青年団の担い手づくり。
- ・ご飯を食べるところが欲しい。
- ・休みの日に行くところがない。村内イベントの充実↓子供向けに限らず、何かやっていけば出かけようと思うだろう。
- ・今後、一王子団地はどうなるのです

か？遊水地の予定はどうになりましたか？

・どのような施策を行うにしても、安全に住める場所が必要。また、村外から移住できるよう大々的な造成を希望します。「土地」がなければ生活の場は確保できず、人も集められない。

・家の再建を考えているが、学校の方針が決まらないと進めづらい。教育に係りませんが、リフォーム・再建するにあたり補助金なども少しいただけたら助かります。色々と頂いていますが正直足りません。

・カーブミラーを立ててほしい。（現在は自分たちで立てています。）

・「参加したかったがこの時間帯には参加が難しい」と言われた保護者がおられました。（高校生の家庭）ネット等でもアンケートの回答ができたらず、言われてました。

・いろいろな意見を聞けてよかったです。

・これから子育てをされる方の意見を大切に検討をお願いします。

・災害以降、村長様始め、県、村職員の皆様方には球磨村のためにご尽力頂きたただ感謝しかありません。いつも本当にありがとうございます。学校再編について意見する立場ではありませんので、特に何もありませんが、ワークショップのまとめの文書を読み、保護者の方々の不安は相当なものだと感じました。球磨村として子ども

達のために、何が一番よいのかをご検討頂き球磨村の進む道が見えてくれればよいですね。一步一步前に進んでいくようお願いしています。まだまだ大変ですが、球磨村のため、皆で前進していきたいです。

・小中学校を卒業し、今は高校進学となり、私としてはスクールバスでの送迎はともありませんが、当日に行われた意見交換会での資料を拝見しましたが、災害前でも親の送迎が必要なものもありましたし、これまでの子どもたちは帰宅時間が遅くてもそれに生活していました。今後の少子化を考えれば、小中一貫校にし、子供の成長を長く見守っていただける教育が必要かと思っています。アフタースクールは、先生方の拘束される時間が長くなると負担になりますので、民営化された施設での利用も考慮もありだと思えます。子どもたちが安心して成長していきける環境づくり、大変と思いますがよろしく願います。

はるかひまわりの種

小川班と渡小学校1・2年生が被災した渡小学校で「はるかひまわり」の種をまきました。はるかひまわりとは、26年前の阪神淡路大震災で亡くなった加藤はるかさん（当時小学6年生）の自宅跡にたくさんのひまわりが咲き、それがはるかひまわりと名付けられ、命の大切さを考えるきっかけになって欲しいと全国の学校などに配布されるようになりました。



球磨中学校生徒が防災について学ぶ

マイタイムラインを作ろう

球磨中学校で、熊本大学の^{たけうち ゆきこ}竹内裕希子准教授を講師に迎え、熊本県が普及を進める「くまもとマイタイムライン」を作成する防災学習が7月16日に開催されました。マイタイムライン作成のワークショップは3年生のみが取り組み、現在住んでいる地域ごとに分かれ、住んでいる場所の災害リスクを確認しました。その後、備品や持ち出し品の確認、自分がとるべき行動などシートに記入しました。^{ひらた 菜葉}日當菜葉さんは「防災について考えることができた。今日作成したマイタイムラインを活用していきたい」と話しお礼を述べました。



竹内准教授と実験を行う生徒

球磨川支流にヤマメを放流

ヤマメいっぱい川へ

7月20日、球磨川の支流4河川でヤマメの放流が行われました。大きいもので1匹200グラムにもなる成魚を約1500匹放流。低い水温でしか生きられないヤマメが元気なうちに放流するため手際よく作業が進められました。一勝地やまめ養漁場の^{さいとう ひろし}齋藤寛代表は「球磨川水系をヤマメでいっぱいにしたい」と話しました。かつて養漁場を経営していた^{なかつ ちよか}中津チヨカさんは「最近では水温が高くなりヤマメが育ちにくい環境になってきている」と話しました。それでも元気に育ったヤマメを関係者で放流し、川がヤマメでいっぱいになることを願いました。



芋川にヤマメを放流する中津さん

両小学校PTAが夏休み期間プールを開放

元気な声がプールに響く

児童が夏休みに入るのに合わせ、渡小学校、一勝地小学校のPTAが7月26日から8月11日までの期間、プールを開放しました。未然に事故を防ぐため、監視を行う両校の保護者約80人が事前に心肺蘇生法の講習を受けました。1年生から3年生までは一勝地小学校のプール、4年生から6年生までは球磨中学校のプールに分かれ楽しく泳ぎました。後半は猛暑日が続く、熱中症警戒アラートが発表されたため中止となった日もありましたが、昨年は豪雨災害のためできなかったプール開放を楽しんでいました。



プールではしゃぐ児童たち

よかよかスマイルクラブ被災者対象に運動支援

気軽に参加、手軽に運動

「よかよかスマイルクラブ」は昨年の豪雨災害後に、避難所で支援活動を行っていた^{ひらつかまさくに}平塚真邦さんが、被災者のストレスや体調が気になったことがきっかけで有志を募り令和2年10月に立ち上がりました。インストラクターは資格を持ち、本格的な体操を受けることができます。リラックスできる雰囲気、呼吸やストレッチなど誰でも簡単にできます。平塚さんは「家にいる人こそ来て欲しい」と話します。新型コロナウイルスの影響もありますが、球磨村ではさくらドーム仮設団地と大王原仮設団地で行われています。足を運んでみてはいかがでしょうか。



気持ちよく体操を行う参加者

一勝地梨の出荷が本格的に始まる

今年の梨は大玉で味もよし

一勝地果実協働組合で今年も梨の出荷が始まりました。「今年の梨は大玉で出荷量も多く味もいいです」と同組合販売担当の^{まいとことまさず}毎床智和さんは話します。昨年は、豪雨災害の影響で出荷が遅れましたが、今年は例年より1週間から10日程早い出荷となりました。雨が少なくことと暑い日が続いている影響で痛むのが早いですが、その分旨味が増しています。今年は新品種の^{りんか}「凛夏」を初出荷。凛夏は大玉の赤梨で温暖な気候にも強いいため今後力を入れていきたいと、手ごたえを感じています。9月末まで出荷は続き、一勝地梨が全国各地へ届けられます。



大勢で出荷作業を行う

大無田班の「^{えみ}笑実の会」が七夕飾りを作成

こんな世の中だから明るい話題を

8月1日大無田班で笑実の会のメンバー、約20人が集まり七夕飾りを作成しました。笑実の会は、元々婦人会として活動していたメンバーで、これまで年に数回、廃品回収など行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、しばらく活動ができない状況にありました。何か活動ができないかと、今回の七夕飾りを企画し、旧暦の七夕の日に合わせて作成しました。集まったメンバーは、近況報告や久しぶりの会話で盛り上がり、立派な七夕飾りが完成。^{おちむたやすこ}大無田保子さんは「これからも継続して行っていきたい」と話しました。



地区内に設置された七夕飾り

グラウンド仮設団地内に仮設店舗が完成

4事業者へ鍵の引き渡し終わる

令和2年7月豪雨で被災した事業所の生業の再生や、被災者への支援を目的とし、総合運動公園グラウンド仮設団地内に整備した仮設店舗の入居事業者への鍵渡し式を8月6日にしました。

入居事業者は、渡郵便局、たかはし美容室、球磨村森電力、ボランティア団体「かわせみやませみ」の4事業者です。家賃は5年間無償となりますが、光熱

水費は自己負担となります。入居事業者は、これから内装の整備や必要機材の搬入などを行い、9月上旬には営業を始める予定です。

代表で鍵を受け取った、たかはし美容室の丸山桐視子さんは「これまでと違い新鮮な気持ちで始めることができ。仮設団地と近い

ためコミュニケーションをとり、親しんでもらえるお店にしていきたい」と話しました。



代表で鍵を受け取る丸山さん



入居事業者全員で写真撮影



元球磨村議会議員に特旨叙位及び死亡叙勲を伝達

球磨村の発展に大きく貢献



特旨叙位を受け取る浦野賢助さん

元球磨村議会議員の故浦野千尋氏と故犬童學氏に対し、これまでの功績が認められ、特旨叙位及び死亡叙勲を授けられました。

浦野氏は昭和57年から平成26年までの8期36年に渡り在職され、平成2年8月から平成10年5月までの約8年間議長を務められました。その間、球磨村総合運動公園の建設に尽力されました。犬童さんは平成6年から平成22年までの4期16年に渡り在職されました。その間、農林業の振興や村内小学校の再編、統合に尽力されました。



死亡叙勲を受け取る犬童勝則さん

松谷村長は「これまで尽力していたので今の球磨村がある。先ずは災害からの復興に全力で取り組んでいきたい」と話し、それぞれ授与しました。

犬童氏の息子勝則さんは「大変名誉な章をいただいた。父も喜んで思う。一日も早い復興をお願いします」浦野氏の息子賢助さんは「このような名誉な章をいただきありがとうございます。球磨村の早期復興を父も望んでいると思います」とそれぞれお礼を述べました。

包括だより

■食中毒を予防しましょう

暑い夏は、気温や湿度が高く、O-157をはじめとする腸管出血性大腸菌や黄色ブドウ球菌など、食中毒を引き起こす細菌の活動が活発になる時期となります。正しい予防方法を確認し、食中毒を予防しましょう。

食中毒予防の3原則

付けない、増やさない、やっつける！！

- 食中毒菌を付けない（清潔）
 - ・調理前や食事前には、しっかりと手洗いをする。
 - ・タオルやふきんも清潔にする。
- 食中毒菌を増やさない（迅速・冷却）
 - ・買った食品はすぐに冷蔵庫・冷凍庫に入れ、早めに調理し食べる。
 - 料理を長時間常温で放置しない。
 - ・解凍は冷蔵庫か電子レンジでする。（自然解凍は避ける）
- 食中毒菌をやっつける（加熱・殺菌）
 - ・まな板、布巾などは洗った後に熱湯や消毒液で消毒をする。
 - ・温め直しの時も十分に加熱をする。
 - ・加熱食品は中心部まで十分に加熱をする。



■豪雨災害に関する無料法律相談会

被災した自宅の改修や住宅ローンなど、災害に関する相談を受け付けています。

日 時：9月16日(休) 午後1時から午後4時

場 所：渡グラウンド仮設団地内みんなの家

予約先：保健福祉課 地域包括支援係

☎(32)1112

■心配ごとと無料法律相談会

相続・借金・家庭問題など内容問わず、お悩みがございましたら気軽にご相談ください。

時 間：13時から15時（人吉市開催時のみ10時から15時）

場所及び予約先は下記のとおり

月	地 域	開催日	場 所	問い合わせ先
9月	相良村	9月22日(休)	相良村ふれあいセンター (相良村役場横)	相良村総務課 ☎(35)0211
10月	人吉市	10月17日(日)	人吉市消費生活センター 「消費生活なんでも相談会」	人吉市消費生活センター ☎(22)2111
11月	湯前町	11月18日(木)	湯前町保健センター	湯前町保健センター ☎(43)4112
12月	人吉市	12月21日(火)	人吉市消費生活センター 「消費生活なんでも相談会」	人吉市消費生活センター ☎(22)2111
1月	あさぎり町	1月20日(休)	ポッポー館（あさぎり町商工 コミュニティーセンター）	あさぎり町商工観光課 ☎(49)9211
2月	水上村	2月3日(木)	水上村保健センター	水上村総務課 ☎(44)0311
3月	球磨村	3月10日(休)	高齢者福祉センターせせらぎ	球磨村保健福祉課 ☎(32)1112

問い合わせ 保健福祉課 地域包括支援係 ☎(32)1112

球磨村社会福祉協議会

問い合わせ ☎ (32) 0022

球磨村ボランティア連絡協議会の活動

◆一勝地駅清掃ボランティア活動

7月30日、一勝地駅の清掃活動を行いました。昨年は、水害により中止となり、2年ぶりに実施しました。

当日は朝7時30分から12名の会員と観光案内所の職員で、暑い中ではありましたが約1時間、駅のホームの草払い、花壇の草取り、駅舎のすす払いを行いました。

水害により汽車が通っていない状況ですが、この先も一勝地駅をきれいに残していくために、一生懸命取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、ボランティア連絡協議会の活動としても、2年ぶりの活動ということで、久しぶりに会員が顔を合わせられる機会になり、和気あいあいとした活動を行うことができました。

活動の様子



社協の事業紹介

■居宅介護支援事業

要支援・要介護認定を受けた方が、デイサービスやホームヘルパー等の介護サービスを利用するために介護計画を作成します。

球磨村社協では、介護支援専門員の資格を持った職員2名が利用者やご家族と話し合いながら、一人ひとりにあったサービス内容を検討し、福祉サービスを利用しながら、安心した生活が送れるように相談援助を行います。

■通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護等の認定を受けた方が、日中施設（せせらぎ）に通い、入浴、食事等の介護、機能訓練を日帰りで行います。

自宅から施設まで送迎も行い、レクリエーションを通して、楽しい1日を過ごしていただきます。

■訪問介護事業（ホームヘルパー）

専門の職員が自宅を訪問し、利用者の方が日常生活の中で支援を必要とすることに対して介助を行います。要支援・要介護等の認定を受けられた方がご利用できます。

【支援内容】

調理、掃除、洗濯、買い物など各サービスの利用には、介護認定等が必要になります。また、利用内容や利用頻度、利用料についても異なりますので、詳しくは下記までお尋ね下さい。

球磨村社会福祉協議会 ☎ (32) 0022



レクリエーションの様子



体操の様子

■寄せられた善意

【一般寄付】

おの でら ちょうしち
小野寺長七 様

球磨村心身障害者福祉協議会 様
※令和3年7月末をもって解散。活動費の一部をご寄付いただきました。

【香典返し（7月）】

ご遺族の方々に心より哀悼の意を表し故人のご冥福をお祈り申し上げます。

もりさき シヅカ様 (故 くにお 國雄様)
おおいわ よしはる 義治 様 (故 きちろう 貴智郎様)

皆様のご厚意に深く感謝申し上げますと共に、地域福祉の推進のため大切に使用させていただきます。

人吉警察署協議会だより

人吉警察署協議会第1回定例会を開催

人吉警察署協議会は、地域の皆様の意見を警察の業務運営に反映させるための機関で6人の委員で構成されています。

警察署に対して、色々な提言・意見・要望を行っています。

地域の安全・安心の実現のために私達委員に地域のご意見・ご要望をお寄せ下さい。



警察署協議会とは

住民の皆様の意見・要望を把握する場です。

地域の実態に応じたきめ細かい提言や要望を警察署の業務運営に反映させるため、協議会委員を通じて皆様の意見・要望等をお聞かせください。

令和3年度人吉警察署協議会委員の皆様

写真左から

田村 いずみ 委員（錦町）
 福元 寛和 委員（球磨村）
 村坂 純一 幹事（山江村）
 小林 祐介 会長（人吉市）
 大賀 友理江 委員（人吉市）
 立山 まき子 委員（人吉市）

問い合わせ 人吉警察署協議会事務局 ☎ (24)4110

住民健診（個別健診）が始まります

今年度も住民健診（個別健診）が下記日程が始まります。申し込みをされていた人には、8月上旬頃に健診セットを送付しておりますので、必ず中身をご確認ください。まだ申し込みをしていない人も、これから申込可能ですので、保健福祉課までお問合せください。なお、集団健診（検診車健診）をお申込みの人への健診セット配送時期は、令和4年1月頃を予定しておりますので、しばらくお待ちください。

個別健診実施期間 ※医療機関の休診日は除きます

医療機関	期 間
球磨村診療所	9月1日(水)から 令和4年1月31日(月)
人吉市医療機関	9月1日(水)から12月28日(火)

個別健診受診までの流れ

- ①役場から健診セットが届く
- ②受診希望医療機関へ予約を入れる
- ③保険証、受診票・問診票、健診料金を準備して医療機関を受診する
- ④受診後、約1～2ヵ月後に健診結果が届く
 ※健診結果については、保健師・看護師・管理栄養士が説明をしてお渡します。

問い合わせ 保健福祉課 保健予防係 ☎ (32)1139

個別健診実施項目

*球磨村診療所

特定健診・後期高齢者健診

*人吉市医療機関

特定健診（肝炎検査含む）・後期高齢者健診
 肺がん、大腸がん、胃がん（カメラ・バリウム）、腹部超音波、前立腺がん、乳がん、子宮頸がん

個別健診受診に関する注意事項

- ・「特定健診」は、国民健康保険加入者が対象になっております。保険が変わった方は、必ず受診前に球磨村役場までご連絡ください。
- ・現在、医師の治療を受けている方は、各検診の受診が可能であるかを主治医に確認してください。
- ・問診票を記入して、受診してください。
- ・検診時の服装は、なるべく軽装で受診してください。
- ・障害者手帳をお持ちの人、生活保護受給者の人は、受診前に同意書を役場まで提出してください。

村内移動販売 スケジュール

■時刻は到着の目安です。また予告なくスケジュールを変更する場合があります。

■台風や大雨等により予告なく販売を中止する場合があります。

地区	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
運動公園 仮設団地	10:45 ~ 12:00 Gコープ	11:30 ~ 12:30 よんなっせ	14:30 ~ 15:00 常笑	9:00 ~ 11:00 山村活性化協会
島田			16:45 常笑	
境目	13:30 Gコープ			
立野	14:00 Gコープ			
糸原	14:30 Gコープ			
水篠	15:00 Gコープ			
椎屋			15:30 常笑	
岡			16:00 常笑	
中園			16:15 常笑	
那良 那良口		11:00 さんがうら		
松谷		11:30 さんがうら 13:45 よんなっせ		
毎床	12:10 よんなっせ	11:30 さんがうら		
俣口		12:10 さんがうら		
遠原	12:50 よんなっせ	12:50 さんがうら		
茂田	12:30 よんなっせ	13:15 さんがうら		12:00 わいえふ
大久保	13:00 よんなっせ	13:20 よんなっせ	11:00 さんがうら	
大無田	12:00 わいえふ	13:00 よんなっせ	11:20 さんがうら	13:15 わいえふ
千津			12:10 さんがうら	13:00 わいえふ
八久保			12:30 さんがうら	
鶴口	10:00 わいえふ		13:00 さんがうら	
日隠			12:30 よんなっせ	
中渡			12:50 よんなっせ	
岳本			13:00 よんなっせ	
黒白			13:20 よんなっせ	
野々原			11:15 よんなっせ	
中屋			11:45 よんなっせ	
吐合			14:20 よんなっせ	
中津			13:40 よんなっせ	
黄檗			13:50 よんなっせ	

地区	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
田代	11:00 よんなっせ			
松舟	11:20 よんなっせ			
柳詰	11:30 よんなっせ			
宮園	11:40 よんなっせ			10:55 Gコープ
池下				11:10 Gコープ
大坂間			10:30 わいえふ	
告			11:15 わいえふ	
蔵谷				12:00 山村活性化協会
横井				12:30 山村活性化協会
高沢				13:00 山村活性化協会
沢見				13:30 山村活性化協会
日当 大岩			13:35 Gコープ	
四蔵 永椎			14:00 Gコープ	
松野			14:10 Gコープ	
上原			14:15 Gコープ	
神瀬多目的 集会施設周辺			14:45 Gコープ	
部			15:10 Gコープ	
松本			10:35 Gコープ	
友尻	13:15 よんなっせ			10:25 Gコープ
大瀬				11:30 Gコープ

事業者名（敬称略）（順不同）	表中での略称	取り扱い商品
田舎の体験交流館さんがうら 担当：小川☎(32)0443	さんがうら	弁当・惣菜、パン、日用品
(一社)くまむら山村活性化協会 担当：大無田☎(32)0170	山村活性化協会	野菜、卵、パン、保存食料（缶詰・調味料等）、菓子類、日用品
グリーンコープ生協くまもと (八代市) 担当：橋本☎080-2780-8806	G コープ	弁当・惣菜、肉・魚、野菜・果物、卵・乳製品、冷凍食品、パン、保存食料（缶詰・調味料等）、菓子類
株式会社常笑 ^{じょうしょう} （湯前町） 担当：石神☎080-2693-2687	常笑	肉（注文制）、パン（注文制）、保存食料（缶詰・調味料等）（注文制）、菓子類（注文制）、日用品（注文制）、野菜・果物 ※野菜・果物以外の商品は注文制となります。
移動販売わいえふ（人吉市） 担当：吹春☎070-3526-9623	わいえふ	弁当・惣菜、肉・魚、野菜・果物、卵・乳製品、冷凍食品、パン、保存食料（缶詰・調味料等）、菓子類
移動販売よんなっせ 株式会社プリズム（八代市） 担当：湧田☎090-5735-0102	よんなっせ	弁当・惣菜、肉・魚、野菜、果物、卵、乳製品、冷凍食品、パン、保存食料（缶詰・調味料）、菓子類

問い合わせ 産業振興課 商工観光係 ☎(32)1115

児童による防災行政無線放送について（下期）

■ 目 的

- ①帰宅時間が守られていないため、校外生活の決まりに定められた帰宅時間を徹底する。
- ②家庭での見守り（家庭教育の充実）及び地域の見守り活動の促進を図り、不審者等から児童の安全を確保する。
- ③児童の声で呼びかけを行うことにより、上記目的の浸透と達成を図る。

■ 放送日

9月1日から令和4年2月末まで毎日実施します。
放送順番：両校の5・6年生で日替わりで放送します。

問い合わせ 教育委員会 社会教育係
☎ (32)1117

■ 放送時間

- ①9月から2月：16時45分から
- ②3月から8月：17時45分から
- ※9月から2月は17時、3月から8月は18時にミュージックチャイム（曲名：夕焼け小焼け）を放送する。
- ※日暮れの実情と休日のリズムを考慮し、帰宅時間（9月から2月は17時、3月から8月は18時）の15分前に放送します。

■ 放送内容（下期）

こちらは防災球磨村役場です。
※もうすぐ5時になります。小学生は家に帰る時間です。車に注意し安全に気をつけて家に帰りましょう。地域の方々は、子どもたちへの声かけ見守りのご協力をお願いします。（繰り返し）
今日の放送は、〇〇小学校〇〇年〇〇〇〇でした。

薬草栽培者募集

あさぎり薬草合同会社では、薬草の産地化を目指し、薬草栽培者及び栽培面積の拡大を図るため、薬草『ミシマサイコ（三島柴胡）』栽培者を募集します。随時募集をしておりますので、お気軽にお問合せください。

■ ミシマサイコ（三島柴胡）とは

セリ科の多年草で、本州から四国・九州の日当たりの良い山野に自生し、高さ30から50cmになります。花期は8月から10月で、小さな黄色の花を多数咲かせます。根は柴胡という「生薬」であり、日本漢方局に収録されています。解熱、鎮痛作用があり、大柴胡湯（ダイサイコトウ）、小柴胡湯（ショウサイコトウ）などの多くの漢方方剤に配合されています。

和名は、静岡県の三島地方の柴胡が生薬の産地として優れていたことに由来しています。1年目に種子、2年目に種子と根を、収穫、調整して出荷します。

新規者にはマルチ補助有り。経営所得安定対策交付金が交付されます（※水田での栽培の場合のみ。金額は市町村によって違います）

■ 説明会の開催について

ミシマサイコ栽培を希望される方、栽培をしたいが迷っている方、興味のある方を対象に、説明会を9月下旬に予定しています。説明会への参加希望の方は申込をお願いいたします。

問い合わせ 産業振興課 農林係 ☎ (32)1115

■ 栽培面積・戸数の推移（人吉球磨全体）

年 度	面積 (ha)	戸数 (戸)
平成 20 年度	0.5	5
平成 25 年度	19.5	85
平成 30 年度	72.8	187
令和 2 年度	87.3	185
令和 3 年度	91.8	178

■ 平均反収

昨年度は7月豪雨の影響で441千円でしたが通常であれば、550千円から600千円程になります。



ミシマサイコ圃場（田代地区）

引火性危険物（ライター・スプレー缶等）の処分方法について

7月1日(木)に、人吉球磨管内において収集運搬作業中に不燃ごみから発火する事例がありました。出火原因は、中身の入った整髪用スプレー缶に回転板の衝撃で穴が開き、何らかの着火原（ライター・電池など）により発火したものと思われます。

近年、分別方法については、徹底されてきましたが、十分な処理がされないまま排出されるゴミもいまだ見受けられます。収集車やピット内における火災防止のため、下記について今一度、ご注意くださいますようお願いします。

品 目	区 別	分別方法
スプレー缶	燃えないごみ	使い切り、穴を開ける
使い捨てライター	燃えないごみ	使い切る
マッチ	燃えるごみ	水で十分湿らせる
灰	燃えるごみ	水で十分湿らせる
花火	燃えるごみ	使い切って、十分に湿らせる

問い合わせ 人吉球磨広域行政組合 人吉クリーンプラザ ☎(22)1414
復興推進課 住まい環境係 ☎(32)1140

石綿（アスベスト）含有品の流通及びメーカー回収について

厚生労働省より、石綿（アスベスト）含有バスマット、コースター等の流通及びメーカー回収について発表がありました。対象製品の詳細及び回収方法等の問い合わせについては、厚生労働省のホームページをご確認ください。また、対象製品をお持ちの人は、販売者またはメーカーの問い合わせ窓口にご連絡ください。

■対象製品をお持ちの人へ

メーカー等が回収しますので、ゴミ集積所に排出したり、クリーンプラザへ持ち込んだりしないようお願いします。

バスマットやコースター等は、通常の使い方を使用している限りは石綿（アスベスト）が飛散する恐れはなく、健康上の問題を生じさせるおそれはありませんが、削ったり割ったりしないようお願いします。

もしすでに破損している等でご心配な場合は、ビニール等に入れ、テープ等でしっかりと封をして回収するまで保管してください。メーカー等の指定方法以外で返送したりしないようお願いします。

■対象製品と類似の製品をお持ちの人へ

自主回収を発表しているメーカー以外からも、今後、回収等の発表がある可能性があります。

安全性を調査中の珪藻土製品については、ゴミ集積所クリーンプラザへの排出を控え、削ったり割ったりせずにご自宅で保管していただくようお願いします。

問い合わせ 株式会社ニトリホールディングス
お客様相談室 ☎0120(209)993
人吉球磨広域行政組合 ☎(23)3080
復興推進課住まい環境係 ☎(32)1140

マイナンバーカード休日交付

休日にマイナンバーカードの交付業務を行います。また、申請に関する相談も受け付けます。窓口が混雑している場合は、お待ちいただくことがありますので、ご了承ください。

■期 日 9月26日(日)

■時 間 午前9時から午後4時まで

■場 所 税務住民課

マイナンバーカード交付の際に、「通知カード」の返納が必要となりますので、忘れずにご持参ください。

そのほか、交付をお知らせしたハガキをよくお読みいただき、必要書類をご確認のうえご来庁ください。

【通知カード見本】



問い合わせ 税務住民課 住民係 ☎(32)1113

「こころの悩み相談」を行います

こころの悩みに関する相談を保健師がお受けします。

■日 時

9月27日(月) 13時30分から16時

■場 所

役場・ご自宅等ご希望に応じます

■申込方法

前日までにお電話で下記担当へお申し込み下さい。
(予約制)

■悩みごとの一例

- ・出産の不安・こどもの発達の心配、子育ての悩み・こどもの不登校・介護疲れ・借金問題
- ・家庭(家族)の心配ごと・ギャンブルやアルコール、買い物にのめりこんでやめられない・職場・学校の対人関係の悩み・憂鬱な気分が続く・眠れない・家庭内暴力(妻、夫、恋人等、子ども)等

問い合わせ 保健福祉課 地域包括係

☎ (32)1112

災害弔慰金の支給について

災害弔慰金については、災害による直接的被害で死亡された方と、その後の避難生活での体調悪化など、間接的な原因で死亡(災害関連死)された方のご遺族に支給されます。

災害関連死については、ご遺族からの聞き取り等詳細な調査が必要となりますので、災害関連死と思われるご遺族の方は事前連絡のうえご相談ください。

※災害関連死の認定には、かなりの時間を要します。

■認定された場合

受給者：配偶者、子、父母、孫、祖父母

※上記のいずれにも該当しない場合 兄弟姉妹(死亡時に同居又は生計同一の場合に限る)

支給額：生計維持者の場合 500万円

その他の場合 250万円

問い合わせ先 保健福祉課 福祉係

☎ (32) 1112

人吉球磨地域住民精神保健福祉ボランティア養成講座のご案内

ストレスが多く存在する現代社会では、心に不安や悩みを抱えている人たちが非常に増えてきています。その人たちを家族や関係者だけが支えるのではなく、地域全体で支え、誰もが安心して暮らせる、開放的な社会の実現を目指しボランティア養成講座を開催します。

■日時

11月9日(火) 14時から16時

11月19日(金) 13時30分から15時30分

11月26日(金) 13時30分から15時30分

12月3日(金) 14時から16時

12月10日(金) 14時から16時

■内容 精神障がいや認知症等の講座等

■会場 後日受講される方に連絡があります

■受講料 無料

■申込方法 直接電話申込にて受付

■締切日 10月22日(金)

問い合わせ 地域生活支援センター「翠(みどり)」

☎ (22) 2570

令和3年度緑の募金運動へのご協力のお礼

4月下旬から5月下旬まで、村民の皆様、村内事業所様などのご協力をいただき行っていた「緑の募金」の総額が、101,900円となりました。

この緑の募金は、学校・公園など公共施設の緑化や緑の少年団、地域植樹・育樹祭活動行事など緑と水に恵まれた生活環境を守っていくために使われています。災害後の状況の中、たくさんの募金が集まりました。皆様のご理解・ご協力へ感謝申し上げます。

球磨村長 松谷 浩一

こころの健康を守るために

■話を聞く

「話を聞いてもらうだけで安心した。」という人もいます。話を聞くときは、時間をかけて、しっかりと耳を傾けましょう。そして相手の状況を心配していることを伝えましょう。

(例) ねぎらう、一緒に考える、心配していることを伝える。

感情を理解し、気持ちを受け止めましょう。大切なのは、寄り添いや見守りによって安心を感じられるようになることです。

相談・休日在宅当番医

こころの相談

問い合わせ ①人吉保健所保健予防課 ☎(22)3107
②保健福祉課地域包括支援係 ☎(32)1112

相談受	場所	日程	相談時間
①医師	人吉保健所 多良木町役場横	9日(木)	14時00分から
		24日(金)	15時00分(要予約)
②保健師	役場など	27日(月)	13時30分から 16時00分(要予約)

年金相談会

問い合わせ 八代年金事務所 ☎0965(35)6123

場所	日程
人吉商工会議所(小会議室)	6日(月)・13日(月)・27日(月)
錦町社会福祉協議会	1日(水)・15日(水)・29日(水)
多良木町役場(町民相談室)	8日(水)・22日(水)

予約受付時間 午前9時～午後5時(3日前までに要予約)

乳幼児健診

問い合わせ 保健福祉課保健予防係 ☎(32)1139

●3歳6ヶ月児健診

健診	対象者	日程
3歳 6ヶ月児	平成29年12月1日から 平成30年3月31日生	16日(木)

場所 さくらドーム仮設団地内 みんなの家

受付時間 13時00分から13時15分

内容 小児科健診、歯科健診、身体計測、尿検査、子育て・栄養相談

休日在宅当番医

※都合により変更になる場合がありますので、受診する人は事前に医療機関にご確認ください。

5日(日)	人吉リハビリテーション病院	☎(24)6111
	みのる診療所	☎(24)7258
	公立多良木病院小児科	☎(42)2560
12日(日)	あいだ診療所	☎(25)1651
	愛甲産婦人科	☎(22)4020
	人吉医療センター小児科	☎(22)2191
19日(日)	伊津野医院	☎(22)3066
	掛井眼科医院	☎(22)3383
	やまむら小児科・内科	☎(45)0005
20日(月)	岡医院	☎(22)3371
	河野産婦人科医院	☎(24)3838
	増田クリニック小児科	☎(22)3570
23日(木)	願成寺ごんどう医院	☎(22)4700
	小林脳神経外科	☎(24)8331
	たかはし小児科内科医院	☎(24)2222
26日(日)	球磨病院	☎(22)3121
	たかみや医院	☎(24)5611
	増田クリニック小児科	☎(22)3570

戸籍

の窓

7月届け出分(敬称略)

▼お誕生おめでとう

氏名	地区	保護者
飛永 志音	野々原	大志

▼お悔やみ申し上げます

氏名	地区	年齢
森崎 國雄	中屋	84歳
中山 啓司	松谷	71歳
大岩 貴智郎	大岩	92歳

人口・世帯の動き (8月1日現在)

人口	前月比
世帯数(戸)	1,358 -4
人口(人)	3,289 -6
男性(人)	1,575 -2
女性(人)	1,714 -4
高齢化率(%)	46.1

災害後のこころの ケア相談

熊本県精神保健福祉センター

こころの健康相談電話

☎096(386)1166

受付時間 9時から16時

(月～金 祝日・年末年始除く)



A place where the sun hits

陽だまり

「陽だまり」とは？

「陽だまり」では、子育て親子の交流の場、相談、子育てに関する情報提供、講習などを行っています。子育てに優しい球磨村で、みんなで楽しく笑顔で子育てをしていきましょう！

《寝相アート・足形アート》

夏らしく海をテーマに♪

寝相アートではマーメイドに変身♡

イルカの足形と合わせると可愛い作品になりました♪



☀熱中症に気を付けて

夏本番の8月、暑さがとても厳しい毎日です。お子さん連れで出かける際には、親子そろって熱中症に気をつけましょう！

◎水分を多めに摂りましょう

子どもは新陳代謝がよく、汗や尿から水分がたくさん出ていくため、脱水になりやすいです。水分を多く含む食事や定期的な水分補給を心がけましょう。

◎熱や日差しから守りましょう

小さい子どもは体温調節機能がまだ未熟です。熱のこもらない素材や薄い色の衣服を選んだり、日光を遮る帽子などを被らせるようにしましょう。

◎暑い環境に置き去りにしないようにしましょう

小さな子どもは自分の力で移動することができません。「寝ているから」「ちょっとの時間だから」と放置するのは危険です。特に車内に置き去りにすることは絶対にやめましょう。

◎室内遊びも油断しないようにしましょう

日差しがない室内では大丈夫だろうと油断しがちです。屋外と同じ対策を意識しましょう。水分補給を忘れずに！
※水分補給では、ジュース類ではなく、水やお茶、スポーツドリンクなどを選びます。水分・塩分・糖分を一緒に補給するなら子ども用用のアクアライトなどが飲みやすくおすすめです。

- 1 日(休) 陽だまりサロン
- 11 日(土) 運動会(渡)
- 15 日(休) 陽だまりサロン
- 16 日(休) 3歳6か月児健診
- 22 日(休) 誕生会(渡)
- 陽だまりサロン、ママ誕
- 25 日(土) りんごの木サークル
- 29 日(休) 陽だまりサロン

※村内保育園行事予定の一部も掲載しています。新型コロナウイルス感染症対策などの都合により変更する場合があります。ご了承ください。
(渡) 渡保育園
(こ) こがね保育園
(神) 神瀬保育園(休止中)

球磨村地域子育て支援センター

☎ 陽だまり ☎

〒 869-6401 球磨郡球磨村大字渡乙 763

(渡保育園内)

☎ 33-0125 FAX33-0173

ホームページ <http://www.kmbb.jp/watari/>

【俳句】

炎天や 被災解体 球磨の里
被災地の 西日を避け咲く ゆりの花
夏休み 制作挑む キジ車

板 壽

【短歌】

おもてなし 東京五輪 始まりて
三波春夫サンの 懐かしき歌
窓開けて 蟬の合唱 聞こえてき
我も合わせて ミーンミーンと

平井 静代

「エメラルド街道」残せ 球磨の路

コロナ禍で 東京五輪 開催す
ながーい挨拶 聖火いつ着く

板 壽

反対の 声多かりし 開幕も

メダルラッシュで 日本が元気に
アスリートの 笑顔はじける ガッツポーズ

スケボーの 鮮やかな技 皆十代
五年の努力が 報われし瞬間

無事閉会 感動いっぱい ありがとう
テレビに向かい 感謝の手を振る

鳥飼可津子



水害も コロナも知らず 逝った夫

浄土のくらしは どうですか

解体の 後地にのこる 地蔵様

球磨川の行く末 見ていてほしい

何事も つつんでくれた 住です

感謝をこめて ムービングハウス

高橋カヅ子

【川柳】

木の枝に 蟬の抜け殻 目立つ庭
高齢者 外出辞めよと 酷な夏
夏休み 嬉しくもあり 退屈も

平井静代

【肥後狂句】

もちつと 親子の絆 あつたらな
おかしい 狂うて仕舞うとる 地球
駄目ねえ 三三九度で ぶっ倒れ
不自由さ 嬢の有難さの わかる
本気だろか 禁酒禁煙 張らしたが

日當山岳

よかつたねえ メダルラッシュで 閉会し

静かに 家族みんなで 黙祷す

蚊に食われ 孫にせがまれ 花火する

頼んだぞ 俺より先に 逝かんでね

鳥飼竜胆

毎月10日までに復興推進課に提出ください。

思い出写真館

身近にあった沖鶴橋

はちくぼ まさみ
八久保 正美さん



沖鶴橋は、身近にあった風景の一部でしたが、今は去年までの面影を記憶の中で思い浮かべているとのこと、一刻も早い復旧復興を願っています。

令和2年7月豪雨災害により流失した沖鶴橋について、近くに住む八久保さんに話を聞きました。昭和42年に完成した吊り橋は、軽トラが通れる程度の板張りで、つっぱげたところを補修しながらも農村の振興に貢献していたそうです。以前は渡し舟による農林産物の輸送が主でしたが、橋の開通により物資の流通がスムーズになったとのことでした。

橋の下は、子ども達の遊泳所として思い出深いそうです。



7月4日被災の様子



7月4日沖鶴橋流失



昭和42年11月22日吊り橋完成「沖鶴橋」と命名。長年の渡し舟による農耕不便が解消される。

令和2年7月豪雨で被災された人の中から抽選で20人を招待します。

「歌の力で熊本を元気に、笑顔に」をキャッチフレーズに、熊本出身の超一流の歌手たちが、歌の力で熊本を元気づけるコンサートが開催されます。観覧を希望する人は、以下の要領で応募してください。

熊本県南豪雨復興支援



火の国うたまつり名誉委員長
八代亜紀

八代亜紀

コロクケ

原田悠里

島津亜矢



- 日時 11月13日(土) 13時から16時
- 会場 くまモンポート八代(八代市)
- 出演 八代 亜紀、島津 亜矢、コロクケ、原田 悠里、ほかシークレットゲスト
- 応募対象者 令和2年7月豪雨で、球磨村に住居票がある人で、半壊以上の罹災証明を受けた人。
- 応募方法 郵便はがきに下記の通り記入し、ご応募ください。郵便はがき1枚につき、ひとり応募できます。
- 応募締切 9月16日(木) 当日消印有効
- 当選者発表 厳正な抽選を行い、当選者には個別に連絡します。公表はしません。

【おもて】

郵便はがき
869-6401

球磨村大字渡丙1730番地
球磨村役場復興推進課

「火の国うたまつり
2021」係

【うら】

- ①住所
- ②氏名
- ③生年月日
- ④電話番号